

★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆
♪ジョイコン NEWS♪
第68号 (2024年12月)
★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆

次回(第72回)コンサートは当初予定の日程が変更となり、
2025年1月26日(日)14:00開演(13:30開場)にて
開催することになりました。

急な日程変更になったこと深くお詫び申し上げます。

それでは、「♪ジョイコン NEWS♪」(第68号)をお届け致します。

【もくじ】

- 【1】次回コンサートのご案内
◆第72回コンサート
- 【2】今後の予定(先取り情報)
◆第73回コンサート
- 【3】楽器よもやま話～オーボエ
- 【4】コンサートのアンケートから

【1】次回コンサートのご案内(予約受付中です)

☆☆第72回コンサート☆☆

◇2025年1月26日(日曜日)14時開演
◇出演:荒川文吉(オーボエ)、黒岩航紀(ピアノ)
◇プログラム(予定)

- ◆G. ドニゼッティ: オーボエソナタ
- ◆G. ヴェルディ: 歌劇『椿姫』より「そはかの人か」「花から花へ」
- ◆G. F. ヘンデル: オーボエソナタ ト短調 HWV364a
- ◆R. シューマン: 『若い人のための歌のアルバム』より「春の訪れ」「今は」
- ◆R. シュトラウス: 『4つの最後の歌』より「春」
- ◆P. サンカン: オーボエソナチネ
- ◆F. プーランク: 愛の小径
- ◆D. シュニーダー: オーボエソナタ

◇料金: 大人2,000円、高校生以下1,000円

◇会場: 横浜市港北公会堂(東急東横線 大倉山駅より徒歩7分)

第72回ジョイフルコンサートは、

『Viva! Diva! Oboe!～ソナタと歌で綴るヨーロッパ紀行』と題して、お届けします。

荒川文吉さんからメッセージが届いています

歴史あるコンサートシリーズに出演させていただけることを、嬉しく思います。
せっかくの機会なので、自分の好きを詰め込んだプログラムを組んでみました。
長年の相方である黒岩航紀くんとのアンプルにもご注目ください!
(荒川文吉)

第72回のジョイフルコンサートは荒川文吉さんのオーボエコンサートです。
伴奏は第56回のジョイフルコンサートで素晴らしいピアノを演奏していただいた
黒岩航紀さんがなさいます。曲目もとても華やかな曲になっていて、新しい年明けにび
ったりのコンサートになると思います。どうぞお楽しみになさってください。

★G. ヴェルディ

ジュゼッペ・ヴェルディ(Giuseppe Verdi, 1813-1901)は、19世紀イタリアを代表
するオペラ作曲家です。その作品は、劇的な構成力と深い感情表現で観客を魅了し続け

ています。農民の家庭に生まれたヴェルディは、若い頃から音楽の才能を示し、努力の末にミラノ音楽院の門を叩きました。その後、政治的・社会的テーマを背景にしたオペラを多く生み出し、イタリア統一運動とも結びつけられるほど国民的な存在となりました。

彼の代表作である『椿姫』(La Traviata, 1853) は、アレクサンドル・デュマ・フィスの小説『椿姫』に基づき、華やかな社交界を背景に真実の愛を求める女性の悲劇を描いた作品です。初演時は題材が当時の道徳観にそぐわず不評でした。その後改訂され、今日では世界中で愛される名作となっています。

★椿姫のストーリー

『椿姫』は19世紀パリを舞台に、高級娼婦ヴィオレッタと純粋な青年アルフレードの恋愛を描いた物語です。華やかな社交界に生きるヴィオレッタは、表向きは自由奔放に振る舞いながらも、孤独と死の影に苦しんでいました。ある夜会で出会ったアルフレードは、彼女に純粋な愛を告白し、彼の言葉に心を動かされたヴィオレッタは彼と田舎で静かな生活を始めます。

しかし、アルフレードの父ジェルモンが彼女を訪ね、家族の名誉を守るために二人の別れを懇願します。ヴィオレッタは愛するアルフレードの未来を思い、苦渋の決断で彼のもとを去ります。誤解からヴィオレッタを非難するアルフレードですが、真実を知り後悔し、彼女のもとへ駆けつけます。病に侵されたヴィオレッタは短い再会の後、彼の腕の中で息を引き取ります。

★アリア「そはかの人か」「花から花へ」

・「そはかの人か」(“È strano! È strano!”)

第一幕の終盤、ヴィオレッタがアルフレードの愛に心を揺さぶられる場面で歌われるアリアです。華やかなパリで孤独を感じていた彼女が、アルフレードとの出会いによって新たな希望を見出します。しかし、過去の経験から真実の愛に対する疑念と期待が交錯します。このアリアでは、彼女の内面的な葛藤がドラマチックな音楽で表現され、やがて続く喝采を浴びるような「花の二重唱」へとつながっていきます。

・「花から花へ」(“Sempre libera”)

「そはかの人か」に続く華麗なカバレッタで、ヴィオレッタがアルフレードの愛を一瞬受け入れようとするものの、自由奔放な生活に戻る決意を歌います。明るく激しい旋律が彼女の複雑な感情を表し、アルフレードの歌声が遠くから響く中で、彼女の心の迷いが印象的に描かれます。この部分は、ヴィオレッタの内面の強さと儚さが交差し、観客に深い印象を残します。

この二つの楽曲は、ヴィオレッタの心情を見事に描写しており、彼女のキャラクターを象徴する重要な場面となっています。ヴェルディの豊かな音楽性と劇的な構成力が光る名曲です。

今回はオーボエの演奏ですが、いろいろストーリーを思い描きながら聴きたいと思います。(A.N)

■予約申し込みはこちら

ホームページ：<https://www.ohkurayama-joycon.com/>

予約専用電話：080-8424-5108

【2】今後の予定(先取り情報)

★★第73回コンサート★★

◇2025年3月16日(日)

◇出演：青島周平(ピアノ)

◇プログラム(予定)

◆ハイドン：ソナタ第59番 変ホ長調 Hob. XVI:49 op. 66

◆ショパン：ピアノソナタ第2番「葬送」op. 35

◆スクリャーピン：ピアノソナタ第5番

◆リスト：ピアノソナタ 口短調

◇予約受付開始：2025年1月27日（月曜日）午前9時より
★プログラム等詳細は順次、本紙面、ウェブサイト、チラシ等でお知らせします。

【3】楽器よもやま話～オーボエ

次回の演奏会（第72回演奏会）では、東京フィルハーモニー交響楽団首席オーボエ奏者の荒川文吉さんが登場します。
ジョイコンにとって、第39回コンサート（2019年5月公演 出演：荒木奏美さん）以来のオーボエ・リサイタルとなります。

オーケストラで演奏開始前のチューニング（音合わせ）をする際、はじめに音を出すのがオーボエです。
その音に合わせてコンサートマスターがヴァイオリンを弾いて他の楽器が合わせていきます。
なので、比較的なじみのある楽器かと思います。

オーボエは、2枚のリードを使って音を出すダブルリードの楽器です。
ダブルリードの楽器の歴史はたいへん古く、古代エジプトの壁画にもそうした楽器（葦笛）が描かれています。
その後、ダブルリードの楽器は野外楽器として発展し、世界中に広まって行きました。
トルコの「ズルナ」という民族楽器、さらに進化して13世紀後期から17世紀にかけて作られた「ショーム」という民族楽器がオーボエの祖先といわれているようです。

17世紀から19世紀にかけてオーボエは楽器として改良を重ね、19世紀末にはドイツ式とフランス式が並び立っていました。
ドイツ式とフランス式には音色と指使いに大きな違いがありましたが、その状況を一変させたのは、ドイツの有名な作曲家兼指揮者だったリヒャルト・シュトラウス（1864-1949）だといわれています。
20世紀初め、彼はフランス式オーボエの音色と表現力を高く評価し、この楽器の持つ音楽的可能性を認めると、多くの楽団がフランス式オーボエを採用するようになったのです。

フランス式は「コンセルヴァトワール式」と呼ばれ、現在のオーボエの主流となっています。
一方、ドイツ式はウィーン・フィルハーモニー管弦楽団やウィーン交響楽団などごく限られたオーケストラのみで使われ、「ウィンナーオーボエ」と呼ばれています。

さて、次回演奏会ではリヒャルト・シュトラウスの作品も演奏されます。
荒川さんのメッセージにもあるようにピアニストの黒岩航紀さんとのアンサンブルも楽しみです。
どうぞご期待ください。（でくのぼう）

【4】コンサートのアンケートから

前回のジョイフルコンサート（11月17日公演）『レグルス・クアルテットの挑戦』は如何でしたか？

「Web アンケート」には、演奏のご感想や運営について、今後のご希望など貴重かつ熱心なコメントを頂きました。今回もその一部をご紹介します。

アンケートでの質問「今回のコンサート内容はいかがでしたか？（5段階評価）」では、「大変良かった」91%、「良かった」9%と極めて高い評価でした。

自由記入欄の「演奏のご感想」では、『全体的にとっても良かった。特にショスタコービッチには圧倒されました』『弦楽四重奏を生で、あれだけ間近で聞く機会はなかなか無いので、とても良かった』『ステキで意欲的な曲と演奏でした。お話もわかりやすく楽しく聞くことができました』『とてもバランスの取れたカルテットで、素敵な空間を過ごせた事うれしく思います』など、大満足とのご感想がたくさん寄せられました。

また『もう少し穏やかな曲目が聞きたかった』『プログラムは比較的重めの曲目に思えますが、充足感が大きかったです(なかなか他では聴けないと思うので大変ありがたかったです)』『面白いプログラムでした。ドキドキしながら夢中で聴きました』などプログラム構成に関するコメントもありました。

「運営について」では、『スタッフの方もとても親切でした』『ボランティアの方の運営も感心しています』『運営はスムーズで、皆慣れていらっしゃるなあと思いました』など好意的コメントが寄せられました。

一方『お手頃な料金でありがとうございます』など料金に関するご感想や『12月にクリスマスコンサート等の名目で開催していただきたいです』などのご意見がありました。

頂いたご意見やご提案も参考にしながら、引き続き運営の改善をして参ります。
アンケート回収数:23 (回収率 16%)

【編集後記】

これまで、このメールマガジンは偶数月の初日に配信しておりました。
編集作業の都合により、今回から偶数月の中ごろに変更することになりました。

引き続きよろしく願いいたします。
(編集担当一同)

※このメールマガジンは、大倉山ジョイフルコンサートのアンケート等で「コンサート情報」を希望された方に配信しております。

■次回予約申し込みはこちら

ホームページ：<https://www.ohkurayama-joycon.com/>

予約専用電話：080-8424-5108

■バックナンバー

メールマガジンのバックナンバー(PDFファイル)はこちら

ホームページ：<https://www.ohkurayama-joycon.com/>

■配信停止／アドレス変更

メールマガジンの登録、配信停止、アドレス変更はこちら

<mailto:info@ohkurayama-joycon.com>

発行：大倉山ジョイフルコンサート実行委員会

Eメール <mailto:info@ohkurayama-joycon.com>

携帯電話 080-8424-5108

URL <https://www.ohkurayama-joycon.com/>
